

千葉市美浜文化ホール 感染症予防対策・チェックシート

利用日： 2021年 月 日 利用区分：AM・PM・NT

利用施設：メインホール / 音楽ホール / リハーサル室 / 会議室 / 第1スタジオ / 第2スタジオ
 下記のチェック項目を厳守し利用いたします。

団体名：

ご利用者様自署：

チェック項目	チェック
① 定員を“管理者の定める人数”として、人の密度を減らし、ソーシャルディスタンス確保に努めます。	
② 来場者および出演者（練習の場合は参加者）＜※以下、利用者とする＞に、必ずマスク着用の徹底を促します。 ※演出の表現上、困難な場合を除く	
③ 利用者には利用施設へ入場する前に、手指の消毒、または手洗いの徹底を促します。	
④ 利用者には、必ず利用当日の検温を促します。風邪の症状や発熱等、体調不良等の場合には、来館自粛を促します。	
⑤ 利用者名簿・健康管理記録を作成します。 利用者の氏名／連絡先／体温／体調を記載した「利用者名簿・健康管理記録」を利用終了後1か月間保管の上、しかるべき場合に、保健所等へ開示することに同意します。 ※体温計の貸し出しはございません。ホール施設は下記＜特記事項＞参照	
⑥ 利用者の接触が起こるドアノブや手すり、テーブル、折りたたみ椅子は、施設利用中、可能な限り消毒ふき取りを行います。（消毒液は主催者でご用意ください） ※利用前に施設スタッフが可能な限りの消毒・清掃を行っております。 ※ホール所有の楽器、音響機材等への消毒液の吹き付け、ふき取りは厳禁	
⑦ 利用中にはこまめに休憩時間を確保し、休憩時間中にはドア等の開放など換気を十分行い、感染予防に努めます。（施設の空調は外気を循環させております）	

＜各施設利用人数の利用制限時の定員＞

※利用制限中の設定人数となります。今後、変更になる場合があります。

- 音楽ホール：歓声等がない公演 100% (152席)
 歓声等のある公演 50% (76席) ※共に車いす席含む
- 音楽ホール楽屋：楽屋A 3名→2名 楽屋B 10名→5名

会議室 22名以下 / リハーサル室 50名以下 / 第1、第2スタジオ 5名以下

※メインホールは天井改修工事のため、閉鎖中

施設確認者

＜特記事項＞

- メインホール、音楽ホールには非接触式セルフ検温機が各1台常設されています。
- 催し物内容によってはご利用の自粛を依頼する場合がございます。（裏面参照）
- “3密”回避のため、事前に内容確認をさせていただき、内容の変更をお願いする場合があります。
- 本チェックシートは千葉県・千葉市等から名簿とともに提出を求められる場合があります。

「密集」「密接」が避けられず感染リスクが高いと思われる下記の項目については、国・県・市等、また各音楽団体等のガイドラインからご利用を制限させていただいております。
 ※ご利用に関する緩和については、国、千葉県、千葉市による総合的判断からなされます。
 あしからずご了承くださいませ。

	項目	制限理由
△	声楽・オペラ 詩吟・民謡等	対策を十分に行ったうえで利用可 ※注意事項 1
△	歌謡(カラオケ)	対策を十分に行ったうえで利用可 ※注意事項 1
△	軽音楽・Jazz・ タンゴ演奏等	対策を十分に行ったうえで利用可 ※注意事項 1
△	合唱・コーラス	密集しての高唱、飛沫感染リスクが高いため (対策を十分に行ったうえで利用可) ※注意事項 1
△	歌声コンサート	ご来場者様の歌唱による飛沫感染リスクが高いため (対策を十分に行ったうえで利用可) ※注意事項 1
△	社交ダンス	身体的接触、発声を伴わない内容については利用可 ※注意事項 2
△	フォークダンス スクエアダンス	身体的接触、発声を伴わない内容については利用可 ※注意事項 2
△	その他 舞踊・ ダンス	バレエ、Jazz ダンス、エアロビクス、HIPHOP ダンス等 (対策を講じた上で利用可)
△	お笑い・漫才・ 新喜劇等	密接しての会話、来場者の歓声等による飛沫感染リスクが高いため (対策を講じた上で利用可)
△	ミュージカル	密接しての歌唱・演出等が含まれる可能性が高いため (対策を十分に行ったうえで利用可) ※注意事項 1
△	演劇	密接しての歌唱・演出等が含まれる可能性が高いため (対策を講じた上で 利用可)
△	社内研修会等	対面でのワークショップ、ディベートなどの密集・密接、決起集会等による 社歌斉唱、掛け声による飛沫感染リスク等 (対策を講じた上で利用可)
	その他	密接・密集しての演出、また飛沫感染リスクの高い演目が含まれる催物
<p>注意事項 1 【発声を伴う活動（飛沫感染リスクの高いもの）】</p> <p>ア 合唱者間の距離は前後2m以上、左右1m以上確保し、向かい合う配置は避けること</p> <p>イ 指導者・伴奏者との距離を確保すること</p> <p>ウ 歌唱・発声を伴う場合、マスクを着用すること（ホール施設4名以上、4階施設2名以上でご利用の場合） ※フェイスシールドのみでの使用は不可。マスクを着用すること。</p> <p>エ マイクは原則1人1本で利用すること。使いまわす場合は、マイク使用者全員がマスクと手袋を着用し、使用者が変わる毎にマイクの消毒を行うこと。 ※マイクカバーを取り換えるだけでの使用は不可。 ※フェイスシールドのみでの使用は不可。マスクを着用すること。</p> <p>オ 体操等のウォーミングアップは身体的接触をしないように注意すること</p> <p>カ 連続した練習は30分以内とすること</p> <p>キ 楽譜・プリントなどの共有を避けること</p>		
<p>注意事項 2 【身体接触を伴うもの（接触感染リスク高いもの）】</p> <p>ア 特定のペアで練習し、ほかのペアとは1～2m以上離れること</p> <p>イ 歌唱・発声を伴う場合、マスクを着用すること（ホール施設4名以上、4階施設2名以上でご利用の場合） ※フェイスシールドのみは不可</p> <p>ウ 連続した練習は10～15分以内とすること</p> <p>エ 物品の共有は避けること</p> <p>オ 大声で話さず静粛を保つこと</p>		